

令和5年度 第4回名古屋市日中サービス支援型グループホーム運営評価会議  
評価結果（令和6年2月16日開催）

（定期評価）

法人名称	株式会社マザーズ
事業所名称	NEXUS伏屋
事業所所在地	名古屋市中川区伏屋4丁目2550番地
評価結果	<p>下記の内容に留意し、適切な事業運営を実施されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日常生活において行われている入居者の意思確認が、事業者の都合によるものとなりがちになることがあります。そのため、入居者の意思決定を尊重する関わりとは何かを意識した活動を継続してください。</li><li>・個々の障害者の自立的な生活とはどのようなことか、日中サービス支援型グループホームの運営に関わる全ての者を含め、見直し、実施できるような仕組みを整えてください。</li><li>・異性介助、異性介護についての見直しを行い、原則である同性介助、同性介護の体制を整えてください。</li><li>・入居者の障害特性に応じた支援のために必要な視点を、実際の支援現場において獲得し、獲得した視点をもった支援の実施に努めてください。</li><li>・日中サービス支援型グループホームの趣旨を踏まえ、本事業所において安定的に入居者を受け入れるために必要な体制を検討し、特に支援において中核となる管理者とサービス管理責任者の確保や育成に努めてください。</li><li>・評価会議時の面談において、場面支援についての説明を受けたが、入居者の全体像をとらえ、必要な支援が展開されているとは言い難い状況にあります。日々の支援に懸命に取り組まれている状況は十分に理解しますが、管理者及びサービス管理責任者が、法人及び事業所内において、ケアマネジメントの視点に立って考察する役割を担う必要があります。</li><li>・プログラムについて、画一的になりがちと感じます。生活の場であるがゆえに、プログラムの定期的な見直しや更なる工夫を行っていただきたいです。</li><li>・日中支援プログラムを設定することにより、入居者が選択できる生活の幅が広がるよう努力していただきたいです。</li><li>・自立支援連絡協議会に必ず参加することで、地域の他の障害福祉関係者と連携し、地域の課題を認識したうえで、日中サービス支援型グループホームとして必要な役割を果たしてください。</li></ul>

- |  |  |
|--|--|
|  | <ul style="list-style-type: none"><li>・個々の入居者の希望や状況を積極的にモニタリングする体制を整えてください。</li><li>・外部の関係者も含めた定期的なケア会議やケースカンファレンスを行うことで、場面支援にとらわれるのではなく、グループホームにおける生活支援についての計画的な支援が行われるよう、体制を整えてください。</li><li>・権利擁護の必要な入居者に対して、丁寧に説明を行ったうえで、日常生活自立支援事業や成年後見制度などの公的制度の活用に取り組んでください。<br/>また、重度の利用者が多いことから、その人たちの権利が保障されるよう、公的制度の活用が求められる。そのために、公的制度の利用について、法人としての枠組み（どのような場合に何を使っていくのか）を明確化していくことを求めます。</li><li>・問題解決を図るために構築された管理体制が十分に機能されていないため、法人と現場の連携が適切に図られる体制になるよう見直しを行い、サービスの質の担保を図ってください。</li><li>・物価高騰により、利用者が負担すべき日常生活に要する費用に関する値上げが必要となった場合は、書面等において理解しやすい説明を十分に行うとともに、同意を取ってください。</li></ul> |
|--|--|